

## 第29回 温泉関係功労者被表彰者(50音順)

氏名	年齢	役職等	功績概要
大河内 正一 <small>オオユウチ ショウイチ</small>	61	法政大学生命科学部環境応用化学科教授  (社)群馬県温泉協会理事  (社)全国水利用設備環境衛生協会理事  温泉学会理事	昭和51年より34年以上にわたり法政大学に勤務し、温泉化学の分野においてORP(酸化還元電位)を応用した研究により温泉水のエイジング(老化)を含めた評価法を確立すると同時に新鮮な温泉水の皮膚への影響を踏まえた健康・美容への有効性を明らかにする等の調査研究を行い、温泉保護と適正利用の推進に大きく貢献した。 また、平成17年より(社)群馬県温泉協会理事、平成19年から温泉学会理事等を務めるなど温泉の普及啓発に貢献している。
大塚 吉則 <small>オオツカ ヨシノリ</small>	55	北海道大学大学院教育学研究院教授  日本温泉気候物理医学会理事	平成3年より19年にわたり日本温泉気候物理医学会に在籍して温泉医学を研究し、糖尿病治療への応用の一助となる功績があった。 北海道環境審議会温泉部会において平成8年から16年まで通算8年間にわたり委員を務め、温泉行政の推進に尽力した。
小原 健史 <small>コハラ ケンジ</small>	62	(株)和多屋別荘 代表取締役  佐賀県環境審議会委員	平成7年より佐賀県環境審議会温泉部会の委員として15年の長きにわたり就任し、各種団体での経験を活かし、審議会の円滑な進行に努め、佐賀県の温泉行政の推進に貢献した。また、平成7年から21年にわたり(社)日本温泉協会理事、常務理事を歴任し、温泉の適正利用の普及啓発に尽力した。 平成5年から佐賀県旅館生活衛生同業組合の理事長として、組合員に対する講習会を開催するなど、衛生水準の向上のための技術及び意識の向上に貢献した。
笹本森雄 <small>ササモトモリオ</small>	62	山梨県旅館生活衛生同業組合理事長  (株)常磐ホテル代表取締役社長  (社)日本温泉協会常務理事  (社)国際観光旅館連盟副会長	(社)日本温泉協会において、平成7年から現在にわたり理事、常務理事として、温泉資源の保護と適正利用に関する広報普及活動の推進に努めることにより、温泉資源の保護と利用の適正化に貢献した。また、(社)国際観光旅館連盟副会長及び山梨県旅館生活衛生同業組合理事長などの要職を歴任するなかで温泉の基礎的な知識の啓蒙普及を目的とした講習会を開催するなど温泉知識の向上普及と人材育成に尽力した。
鈴木 敏夫 <small>スズキ トシオ</small>	66	秋田大学名誉教授  五十嵐記念病院薬剤部長  秋田県環境審議会委員	平成7年から秋田県自然環境保全審議会温泉保護部会委員として、また、平成15年からは、秋田県環境審議会温泉部会委員(兼)部会長代理として通算15年間にわたり秋田県の温泉の保護と適正利用の推進に尽力し、温泉行政の推進に貢献した。特に温泉成分の人に与える影響等について医学・薬学の専門的な分野で部会の審議に貢献した。

氏名	年齢	役職等	功績概要
タケウチ アキラ 竹内 章	59	富山大学大学院教授 富山県環境審議会委員	平成4年から17年以上にわたり、富山県環境審議会温泉専門部会委員として富山県の温泉の保護と適正利用に尽力し、温泉行政の推進に大きく貢献した。特に、同専門部会においては富山県における活断層の分布と性状、水文地質など地質学の立場から資料の解析及び助言を行うなど、審議の中心的な役割を果たした。
ホリ トシタカ 堀 智孝	63	京都大学名誉教授 京都府環境審議会委員	平成6年から15年以上にわたり京都府環境審議会温泉部会委員として京都府の温泉の保護と適正利用に尽力し、温泉行政の推進に大きく貢献した。特に専門の化学の知見に基づき温泉の飲用、浴用及び排水処理に関して助言し、また可燃性天然ガスによる災害防止施策の実施に当たっても多大な貢献をした。
ミツノブ フミヒロ 光延 文裕	51	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授(岡山大学三朝医療センター長併任) 日本温泉気候物理医学会理事	平成2年より20年の永きにわたり、岡山大学医学部附属病院三朝分院及び改組後の岡山大学病院三朝医療センターに勤務して診療に従事した。また、平成2年より日本温泉気候物理医学会に在籍し、呼吸器疾患及びアレルギー疾患を中心に研究を進め、温泉療法の有効性を示すなど医療を通じて温泉の有用性を証明し、温泉の保護と適正利用に関する普及啓発、学術研究に尽力した。また平成16年からは三朝温泉マイスター養成講座の講師等を通じて温泉医学の普及・啓発活動にも大きく貢献した。また、鳥取県だけでなく周辺府県の自治体から講演依頼を受け、温泉行政の推進にも貢献している。
ヤマウチ セイキ 山内 靖喜	69	島根大学名誉教授 島根県自然環境保全審議会委員	平成4年から島根県自然環境保全審議会委員(温泉部会)の学識経験者として、専門である地質学(構造地質学及び堆積学)の知見をもとに地域への影響等について意見・助言を行うなど、長年にわたり温泉行政の推進に貢献した。